

## 第10回GX実行会議への意見

日本商工会議所 会頭 小林 健

### (1) 「GX投資促進策」について

- GX投資促進策について、今回示された内容に大きく異論ない。  
各産業分野において、税制や規制・制度等をうまく活用し、民間の取組みの後押しをお願いしたい。

### (2) 「中小企業等のGX」について

- 中堅・中小企業によるGXの課題は資料に記載のとおりである。各地商工会議所からも「会員企業が取引先から排出量の把握・削減を求められている」との声が寄せられている。相談体制や支援メニューの強化が重要である。
- 知識や技術、資金の乏しい中小企業の脱炭素は「省エネ」から入るのが一番。専門家による省エネ診断は大変盛況と聞いている。資料に「令和6年は案件倍増」とあるが、地方含め希望する企業が診断を受けられるよう、民間企業の力も活用した支援の強化を期待する。
- また、資料に身近な相談先として商工会議所も記載いただいている。すでに札幌、浜松、名古屋などの商工会議所では専門相談窓口を開設し、省エネや脱炭素に取り組む事業者を支援している。東京、大阪、名古屋では脱炭素をテーマにした商談会などの取組みが動き始めている。政府の施策とも連携し、中堅・中小企業のGX推進に取り組んでいく。
- 中小企業が持つ脱炭素技術の活用の後押しもぜひお願いしたい。ワンストップの全国相談窓口や産業化を支援する組織（AIST Solutions）の新設は大いに歓迎する。従前から述べているが、大企業と中小企業の連携による取組みにも期待する。

### (3) 「スタートアップ」、「アジア展開」について

- スタートアップ企業の育成、技術活用も勿論重要である。中小企業やスタートアップの技術も活かし、国内のみならず、アジア各国の脱炭素を支援することでわが国の経済成長につなげていく視点が重要である。

以上